

## 7 国際交流

### 進捗状況報告

○基礎的な状況を継続的に観測する指標				公開/非公開	全学的な視点	個別的な視点	単位	2004	2005	2006	2007	2008	備考
指標1	国際交流協定締結機関数			公開	○	機関							
指標2	国際交流協定締結国数			公開	○	国							
指標3	海外からの学生の受け入れ	国 数		公開	○	国							
		外国人留学生	正規	公開	○	○	人	19	21	26	29		
			交換	公開	○	○	人	0	2	6	3		
		外国人留学生在籍学生比率	正規	公開	○	○	%	0.7	0.8	1.0	1.0		外国人留学生÷在籍学生数
			交換	公開	○	○	%	0.0	0.1	0.2	0.1		
その他 (セミナー等による受け入れ)		公開	○		人								
指標4	海外への学生の派遣	国 数		公開	○	国							
		人 数	長期	公開	○	○	人	16	15	18	18		
			短期	公開	○	○	人	26	30	32	16		
		在籍学生比率	長期	公開	○	○	%	0.6	0.5	0.7	0.6		海外へ派遣した学生数÷在籍学生数
			短期	公開	○	○	%	0.9	1.1	1.1	0.6		
指標5	人的国際学術研究交流 (受け入れ教員数)			長期	公開	○	○	人	0	0	1	0	
				短期	公開	○	○	人	1	3	4	2	
指標6	人的国際学術研究交流 (派遣教員数)			長期	公開	○	○	人	3	1	0	1	
				短期	公開	○	○	人	69	65	51	55	
○施策の目標の達成度を測る指標				公開/非公開	全学的な視点	個別的な視点	単位	2004	2005	2006	2007	2008	備考
指標7	国連ボランティア(UNV)の参加者数			公開	○	人							
<p>注) 全学的な視点、個別的な視点について  全学的な視点とは国際教育協力センターの進捗状況報告シートに表示される項目  個別的な視点とは各学部の進捗状況報告シートに表示される項目</p> <p>注) 正規、交換について  正規とは学位取得目的、交換は正規以外とする。</p> <p>注) 長期、短期について  指標4: 1学期以上を「長期」とし、1学期未満を「短期」とする。  指標5・6: 1年間以上を「長期」とし、1年間未満を「短期」とする。  注) 指標4は学部、研究科を合わせた数とする。</p>													

#### 社会学部

各種指標の数値から読み取れるように、学部の国際交流活動はおおむね堅調に推移している。

#### 社会学研究科

21世紀COEプログラムで実施されてきた国際交流プログラムについては、先端社会研究所に引き継いで実施の予定であるが、予算措置の必要なものについては、大学に要請するとともに外部資金の導入を目指している。

### 学内第三者評価

海外への学生の派遣のうち短期の減少が目立っている。その他は、概ね従来どおりである。21世紀COEプログラムによる国際交流プログラムの継続実施について、その成果が期待される。

なお、学外委員からは以下の意見があった。  
留学生数は徐々に増えてきているが、全学水準(1.8%)からみてもう少し期待したい。派遣は低調であり、やや減少気味である。  
研究交流は短期派遣を除けば極めて低調である。  
進捗状況報告の内容が抽象的であり、コメントし難いが、国際交流検討グループを設置されることが望ましい。